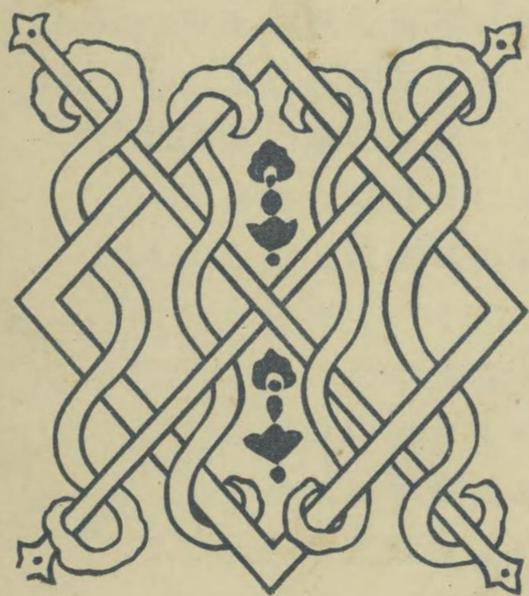


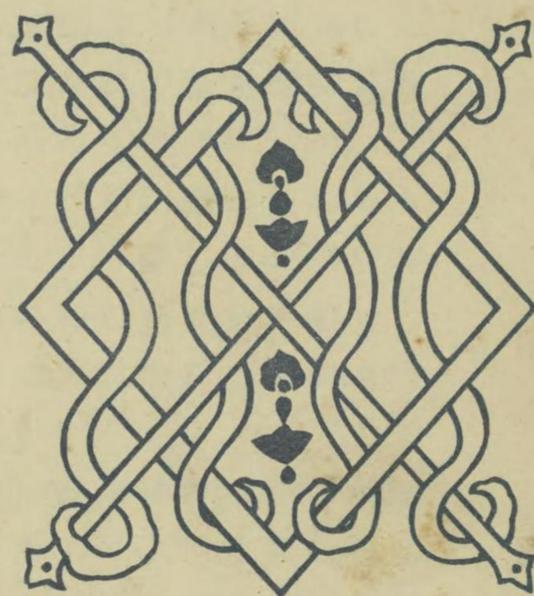
Collection of Songs for
Primary Schools and Homes.

童謠唱歌名曲全集

田村虎藏・福井直秋・小松耕輔・共編



第八卷



東京 文 社 刊 行

EDITION · KYOBUNSHA · TOKYO

69. 曉

犬童球溪 歌曲
山本正夫

mp *mf*

1. ヨ ノ モ ノ ミ ナ ヲ サ マ シ ツ
 2. こ が ね い ろ な す あ か つ き

ツ シ ジ マ ヲ ヤ ブ ル テ ラ ノ カ
 の く も よ り そ ら は あ け そ め

ネ
て

ノ
そ

ナ
か

犬童球溪 歌曲
山本正夫

シ - ツ -
つ - き -

ノ カ -
そ め -

ネ ト ホ ク ナ ミ ウ ツ ソ
て ひ と ひ の わ ざ を い

ノ オ ト ニ メ ザ メ ウ
そ し ま ん あ ら た の ち

ナ ガ ス ヒ ビ キ ア リ
か ら む ね に わ く

六七 梅雨空

野口雨情歌
藤井清水曲

- 一 空は梅雨空 ゆふべの月よ
- 二 月も梅雨空 つゆたれる。
- 三 星も梅雨空 つゆたれる。
- 四 晴れな梅雨空 晴れぬか梅雨よ
- 五 月もお星も 晴れて出な。

六八 キユウビー

加藤まさな歌
瀬戸口藤吉曲

- 一 キユウビーお目めが 可愛いな
おほきな横目で 可愛いな
キユウビーあたまが おかしいな
とんがりあたままで おかしいな。
- 二 キユウビーお手がが おもしろい
ぐるぐる動いて おもしろい
ちよいとこうやりや お釋迦さま
天上天下 おれひとり。
- 三 キユウビー今度は 手をひろげ
交通巡査で 威ばつたぞ
右手を廻はして そら進め
両手をひろげて そらとまれ。
- 四 キユウビーお目めが 可愛いな
キユウビーあたまが おかしいな
しやつぽもかぶらぬ まるはだか
それでも巡査で 威ばつてる。

六九 曉

大童球溪歌
山本正夫曲

- 一 世の萬物を 醒しつゝ
寂寞を破る 寺の鐘
遠く波うつ 其の音に
覺醒促がす 響あり。
- 二 黄金色なす あかつきの
雲より空は 明けそめて

七〇 狐の嫁入

泉澤太郎歌
平岡均之曲

- 一日のわざを いそしまん
清新の力 胸に湧く。
- 天氣のよいのに 雨ふるはく
こんこん狐の 嫁入よ
窓からこつそり 見てごらん
こんこん狐の 行列がく
お空の七色 虹の橋く
水をまきまき 通りますく。

七一 野の唄海の唄

三宅延齡曲

- 一 よい子によい歌 子守歌
茶の花畑は 花盛り
茶の花見たけりや 良くねむれ
茶の木に茶の花 みな咲いた。
- 二 よい歌きく子は よくねむる
畑の茶の花 みせにゆかう
茶の花見たけりや よくねむれ
茶の木に茶の花 みな咲いた。
- 三 よい子はよい夢 みてねむれ
ねむれよ 渚の櫻貝
風吹きや千鳥も ホロとなく
このうら寒かる 寒いだろ。
- 四 よい子はよい夢 みてねむる
夕のお星様 ねむりやんせ
寒むけりや 千鳥もホロとなく
このうら寒かる 寒いだろ。

七二 ほたる

石田磨磋子歌
橋野雄曲

- 一 ほほ ほたる ほほ ほたる
み空の星が 降つて来たか
美しい火よ 夢の火よ
あれあれついた また消えた

七三 こんこん小山

北原白秋歌
長村金二曲

- 一 こんこん小山の お月さま
ついたち二日は まだ小さい
仔馬の耳より まだ小さい。
- 二 こんこん仔馬も 馬柵の中
一飛び二飛び まだ小さい
となりの兎より まだ小さい。
- 三 こんこん小藪の 青葡萄
一つぶ二つぶ まだ小さい
仔馬の眼々より まだ小さい。

七四 村の祭

栗原とし子歌
長谷基孝曲

- 一 祭の太鼓が どんどこどん
おみこし出て行く えつさつさ
狐の森から どんどこどん
ワツシヨ ワツシヨ お祭だ
おみきをあげる お米をあげる
そろひの浴衣で えつさつさ。
- 二 祭の太鼓が どんどこどん
おみこし軽いぞ えつさつさ

七五 賤ヶ嶽の七本槍

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 暗雲棚く 余吾の湖
戦機は熟す 尾野路山
秀吉麾下の 一萬騎
ここに對峙す 賤ヶ嶽。
- 二 敵勢崩れぬ 素破突けと
勢込んで 突進し
長槍ふるひ 薙ぎ倒し
敵と組み打つ 猛者七騎。
- 三 天正十一 春四月
躑躅も紅し 山の阻
七本槍の 名も高く
響は残る 賤ヶ嶽。

七六 つくつくほうし

北原白秋歌
林静一歌

- 一 つくつくほうし つくほうし
啼いても啼いても 日は暮れぬ
お背戸の柿の果や まだ青い。
- 二 つくつくほうし つくほうし
おまへは獨り兒 もらはれ兒
山家のそでちで 氣が弱い。
- 三 つくつくほうし つくほうし
お星のたよりも まだ無いか
啼いても啼いても 山の中。
- 四 つくつくほうし つくほうし
お背戸の柿の果や まだ青い。

七七 みんなんせみ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 それで春子と 申します。
- 二 あの子の生れた その背は
野邊も山邊も みな紅葉
お庭の楓も 眞紅つか
それで秋子と 申します。

八三 およぎ

橋岡逸風歌
大和田愛羅曲

- 一 ミン／＼ないた 子供の蟬が
ミン／＼／＼この木は太い
ミン ミン

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

八三 およぎ

八波則吉歌
平岡均之曲

- 一 歸らむ故郷 緑の山
青葉涼しき 谷のわが家
歸らむ父母 吾を待てる
楽しい家と 友と別れて。

昭和七年五月廿七日印刷
昭和七年五月廿七日發行

◇豫約出版◇ 童謡唱歌名曲全集

第八卷・豫約價 金貳圓八拾錢



編纂者 田村虎藏
東京市牛込區築土八幡町三一

編纂者 福井直秋
東京市外長崎町荒井一八八四

編纂者 小松耕輔
東京市外杉並町阿佐ヶ谷四八五

發行者 鈴木 凡
東京市神田區淡路町二ノ二

印刷者 單式印刷株式會社
東京市芝區金杉新濱町一二
代表者 和田助一

發行所

東京市神田區淡路町二ノ二
振替口座東京八二三六番

京文社

電話神田(25) 三三九〇番
三三九二番